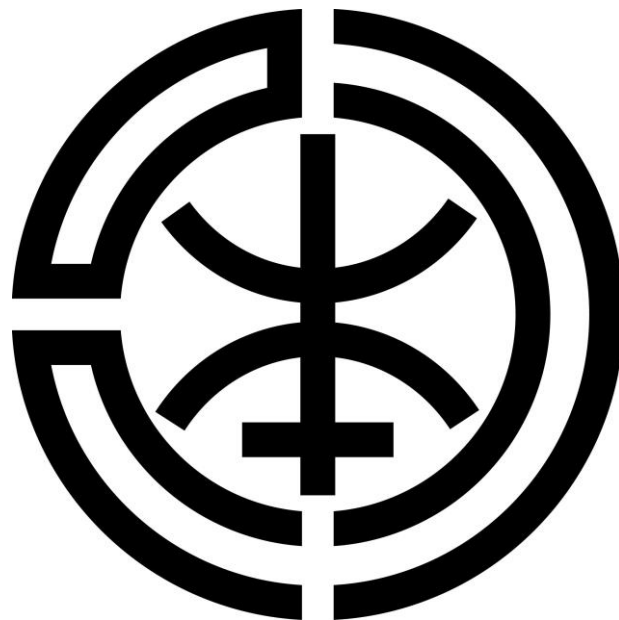


新しい総合計画前段構成（案）

- 表紙
- 目次
- 町長あいさつ

本別町章

昭和6年11月9日制定



本別の「本」を中央に、また「別」の字を図形に図案化しています。「別」はわかれるとも読むため、「本」（もと）でまとめる意味で中央に大きく表現し、字形のそりは飛躍を、「別」の円枠は、町民の団結と融和を表しています。

町民の「道しるべ」となり「合ことば」となる町民憲章をつくろうという機運が町民の間に高まり昭和42年に制定されました。本憲章は町民行動の規範であり、まちづくりの基本となるものです。本別町総合計画はこの町民憲章に添って作成しています。

本別町民憲章

昭和42年11月23日制定

前章

わたくしたちは、十勝の原始林をひらき、戦禍の焦土から立ちあがった、強くたくましい開拓精神を受けつぐ本別町民として、誇りと責任をもち、こころと力をあわせ、未来へ前進することを誓います。

1章

心をあわせて、平和な町をつくりましょう。

- (1) 伸びゆく本別に住むよろこびを、ともにたたえよい伝統を育てましょう。
- (2) おたがいに人格を尊重し、なごやかに暮らしましょう。
- (3) 建設的な話し合いを進め、住みよい町をつくりましょう。
- (4) 希望としあわせをかかげた、町づくり運動を起しましょう。
- (5) 友愛のもとに、手をつなぎあいましょう。

2章

元気ではたらき、豊かな町をつくりましょう。

- (1) おたがいの仕事に感謝し、元気ではたらかみましょう。
- (2) 楽しい家庭をつくり、あすのはたらく力をたくわえましょう。
- (3) 協同の心を育て、生産を高めましょう。
- (4) 仕事に、若者の知恵と情熱を生かしましょう。
- (5) 消費生活の知識を深め、家計の合理化につとめましょう。

3章

きまりを守り、明るい町をつくりましょう。

- (1) 集会の時刻や、きまりを守り、めいわくをかけないようにしましょう。
- (2) 公衆道徳を守り、礼儀正しい生活につとめましょう。
- (3) おたがいに協力しあい、清潔な環境をつくりましょう。
- (4) 交通規則を守り、歩行や運転に気をつけましょう。
- (5) 犯罪や事故の防止に協力しあい、安全な町をつくりましょう。

4章

みんなの親切で、あたたかい町をつくりましょう。

- (1) 未来をつくる子どもを、みんなの責任で育てましょう。
- (2) 働く青少年に、研修といこいの時間をあたえましょう。
- (3) こんにちを築いた老人を敬い、経験を尊重しましょう。
- (4) やさしいことばとえがおを、まちにみたくしましょう。
- (5) 親切の手をのべあい、奉仕のこころを育てましょう。

5章

健康で心ゆたかな、文化の町をつくりましょう。

- (1) 趣味をゆたかにし、暮らしにうるおいをもちましょう。
- (2) 文化活動に進んで参加し、教養をたかめましょう。
- (3) スポーツに親しみ、健康なこころとからだをきたえましょう。
- (4) 恵まれた自然を愛し、生活環境を美しくととのえましょう。
- (5) 郷土に適した、科学的な暮らしを工夫しましょう。

「健康・スポーツ推進の町」宣言

昭和61年7月25日

わたくしたち本別町民は、スポーツを愛好し、スポーツを通して健康であることにほこりをもち、明るく豊かな郷土を築くため「健康・スポーツ推進の町」を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、健康な心とからだをつくりましょう。
- 1 スポーツの機会をつくり、毎日の生活にいかしましょう。
- 1 スポーツを通して、友情と連帯の輪をひろげましょう。

「非核平和の町」宣言

平成7年12月25日

核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは、世界で唯一の核被爆国、日本国民共通の悲願であり、本別町民の心からの望みです。

核兵器が、世界の平和と人類の生存に大きな脅威を与えつつある今日、私たちは核兵器の廃絶を強く訴えるものです。

また、私たちのふるさと本別町は、昭和20年7月15日の本別空襲により大きな被害を受けました。その戦禍の焦土から立ち上がった町民として、二度とこのような悲惨な戦争を起こさない決意と、この美しい郷土を守り、豊かな暮らしを子孫たちに伝えるためにも、悲惨な戦争の事実を語り継いでいくなど、本別町民一人ひとりが平和を求める心を育てていくことを表明し、日本国憲法の理念である恒久平和の実現を願い、非核三原則の堅持と核兵器の全廃を求めて、ここに本別町は「非核平和の町」を宣言します。

「福祉でまちづくり」宣言

平成18年3月23日

私たちが健康で心豊に安心して暮らすことは、町民すべての願いで、明るい福祉社会を誰もが望んでいます。

私たちは、豊かな自然と風土に恵まれたこの素晴らしい故郷を守り、感謝の心、思いやりの心で、ともに仲良く支え合い、住みよい福祉のまちを築くため、ここに「福祉でまちづくり」を宣言します。

- 1 家庭の和 地域の輪で 明るく住みやすい まちづくり
- 1 豊かな経験を活かし 町民参加の元気な まちづくり
- 1 地域福祉の充実で いつまでも笑顔で暮らせる まちづくり
- 1 人権を尊重し 一人ひとりが生きがいもてる まちづくり
- 1 人にやさしい 福祉の心を育む まちづくり

ほんべつ学びの日宣言

平成19年9月11日

子どもたちは今、100年を超える歴史と恵まれた自然の中で明るく元気に成長しています。

しかし、揺れ動く社会の中であって、私たちには子どもたちが将来に向かって大きな夢を抱き、自己の力を十分に発揮できる環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭、学校、地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことが大切です。

私たち町民一人一人が生涯学習の観点に立ち、子どもたちとともに学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心をはぐくむまちづくりを推進するため、ここに「ほんべつ学びの日」を宣言します。

- 1 みんなの力で、明るく元気な子どもをはぐくみましよう
- 1 郷土や家族を愛し、平和を祈り、命を大切にすることを はぐくみましよう
- 1 将来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする心をはぐくみましよう
- 1 食に感謝し、スポーツに親しんで健康な身体をつくりましよう

「ほんべつ学びの日」4つの風

「ほんべつ学びの日」は、本町が進める生涯学習によるまちづくりの下に、子どもたちの健全な精神と豊かな心をはぐくむため、大人と子どもが一緒に、日々学ぶことを「4つの風（光・祈・夢・実）にたとえ、まちの中に「4つの風」を吹き渡らせながら推進するものです。

光風（ひかりかぜ）

子どもが明るく豊かに成長できるように 大人が手を取りあって子どもをはぐくもうとする風

祈風（いのりかぜ）

悲惨な本別空襲を語り継ぎ 平和を祈り 郷土と家族を愛し 命を大切にしようとする心をはぐくむ風

夢風（ゆめかぜ）

自分が心から夢中になれることを考え 未来に大きな目標をもって生きていこうとする夢をはぐくむ風

実風（みのりかぜ）

ふるさとの大地の恵みに感謝し 文化とスポーツに親しみ 健康な心と身体をつくろうとする力をはぐくむ風

● 総合計画の策定と意義、期間、点検評価

● 現在の本別町状況、社会情勢の変化

● 基本構想 めざす将来像

案1 本別プライド ～誇りと責任を持ち 心と力を合わせて 次代につなぐ～

案2 マメで まじめで 堅実で ～ひとつずつの積み重ね～

案3 あずましい 暮らし ほんべつ

案4 ほっこり あったか 笑顔あふれるまち

案5 いいね いいな いいよ ほんべつ

案6 自分らしく ここに生きる しあわせ

案7 すべての人が いきいき笑顔で 暮らすまち

案8 安心して生活できる 田舎まち

案9 きらめく 笑顔あふれる まち

案10 みんなが しあわせに 暮らすまち

● 施策大綱 まちづくりの目標 (案)

1-1.健康で元気に暮らし続ける
1-2.みんなが健康であるために
1-3.ここで自分らしく生きる
1-4 誰もが人生を明るく楽しく暮らす
1-5 支え合いに活動による健やかで心豊かに安心した生活

2-1.産業の魅力あふれるまち (暮らし)
2-2.大地の力をまちの活力に
2-3 地域の好循環による賑わいと活力の創出

3-1.互助による安全・安心なまち (暮らし)
3-2.誰もが安心して生活を営む (暮らし)
3-3.この町ならではの人と人のつながり
3-4 支え合いによる誰もが安心した生活

4-1 豊かな心と生きる力をはぐくむ
4-2 豊かな心を育み人と人とのつながりを大切にする
4-3 互いの成長をよろこび合う

5-1.自然と共生する豊かな暮らし
5-2.豊かな自然と充実した暮らし
5-3.自然を愛し有意義な暮らし
5-4.自然の恵みを感じ、現代社会に生きる
5-5 誰もが安定と充実した生活をおくる